

連作すると障害が出やすい作物は・・・スイカ・メロン・エンドウ豆・
キュウリ・ナス・ジャガイモ・トマト・白菜・キャベツ・大根などがあります。

連作障害・いや地などは、連作により単一菌が増殖し土壌中の菌のバランスが崩れることで、今まで抑えられていた悪い菌や病原菌などが活発となり、収穫量の減少などが起こり、ひどくなると病気や立ち枯れなどが発生します。これが連作障害の一番の原因と言われています。

この『連作の障害が気になる土に』は数種の有機質原料を放線菌・硝酸化成菌・糸状菌などの菌で増殖醗酵させた有効微生物土壌改良材です。土に混ぜるだけで有効菌が働き、不均衡な土壌菌のバランスを整え、地力を回復させます。

使用量の目安

菜園1m²に 100~200g
プランター(65cm)に 25~ 50g
土・1リッター当たり 2~ 4g

計量の目安

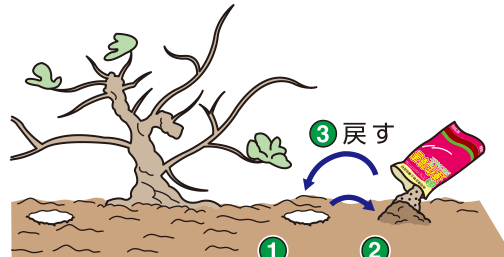
紙コップ一杯 約150g
一握り 約 20g

使用法

○種まき・苗の植え付けの時
土に適量の『連作の障害が気になる土に』を均一に混ぜ込むだけです。
(3日以上おいてから植え付けしてください。)

○地植えしてある場合

作物の周り2~3箇所に深さ30cm程度の穴を掘る。掘り上げた土に適量の『連作の障害が気になる土に』を混ぜ、掘穴にもどします。



○効果は多少おちますが、土にまくだけでもOK。

注意 ◎石灰などのアルカリ物を施肥後、2日~1週間以上あけてご使用ください。

◎重い連作障害の場合は、土壌消毒などの併用が必要な場合もあります。

違った作物での連作による障害の出やすい組み合わせ	
収穫した野菜	相性の悪い野菜
ナス	トマト、ジャガイモ、ピーマン
エンドウマメ	ホウレンソウ
ナス、ハクサイ	サツマイモ、ダイコン
サツマイモ	カブ
キュウリ	ニンジン
ジャガイモ	エンドウマメ、ショウガ
ダイコン	ピーマン

誰にでもおいしくできる野菜別肥料シリーズと一緒にお使いいただくとより効果的です。



注意

使用原料・・・鉛粕・オカラ・魚骨・澱粉粕・脱脂ヌカ・アミノ酸液・酵母菌体など

- お子様の手の届かない所に保管してください。
- 食品ではありませんので人・ペットが誤って食べないように注意してください。
- 有機質を多く使用しているため、使用中に白いカビが発生する場合があります。有効菌の働きによるもので植物に害はありません。
- 使用前に説明を読んでお使いください。
- 使用後は密封して、湿気のないところで保管してください。

家庭園芸専用



4 907403 253063

醗酵肥料のパイオニア

株式会社 **大和**

静岡県焼津市一色430番地
TEL 054-624-8114 FAX 054-624-8113
HP <http://www.daiwa-hiryo.com/> E-mail daiwa@h9.dion.ne.jp